



独学ほどおもしろいものはない。

鈴鹿市
文化会館
リニューアル
オープン記念

孤高のアーティスト

大谷芳照 展覧会

入場
無料

2024年7月20日(土)~28日(日)

時間:9時~17時(入場は閉場の30分前まで) 会場:鈴鹿市文化会館1F さつきプラザ

主催:鈴鹿アートライフデザイン 共催:三重テレビ放送 後援:鈴鹿市/読売新聞社

鈴鹿市
文化会館
リニューアル
オープン記念

独学ほどおもしろいものはない。

孤高のアーティスト

大谷芳照展覧会



展示作品(一部)



【初公開】

SUZUKA 挑戦する勇士(TOMOYA & ANRI)

制作 2024年 / 所蔵 大谷芳照

本展覧会開催のために書き下ろされた新作。

パラリンピックで活躍する鈴鹿市出身の車椅子ランナー伊藤智也選手とモータースポーツで挑戦するフォーミュラマシンを題材に描かれました。どちらも鈴鹿市でスピードに挑戦する勇士を表現しています。



【巡回初公開】

風神雷神雨神陽神屏風

制作 2021年 / 所蔵 福島県いわき市 常勝院

日本で誰もが知っている風神雷神図。古くは中国から伝わってきました。風神雷神図は二つの神が描かれていて数々の日本の著名な絵師が描いてきました。大谷は二つの神(風神雷神)にさらに二つの神(雨神陽神)を想像し、世界初の「風神雷神雨神陽神図」を描きました。今回鈴鹿市で開催される会場では、福島県いわき市にある常勝院の襖絵として描かれた襖絵を特別に許可を得て、本展初公開の作品となります。



【初公開】「進化する命」4連作品

制作 2024年 / 所蔵 大谷芳照

大谷独自の手法である「投書」(とうしょ)で描かれたインパクトシリーズの「進化する命」をテーマにした4連作品です。「命の始まり」「宇宙の中の地球」「ペンギンのクチバシを持つPサウルス」(鳥は恐竜の子孫という仮説をもとに大谷が想像した恐竜)「ミナミイワトビペンギン」。

©EN-PA YOSHI 2024



アーティスト 大谷芳照(YOSHI) すずか応援アンバサダー

1958年生まれ。鈴鹿市出身で、博覧会や店舗の空間デザイナーとしてキャリアを確立。

1993年に大阪の商業施設「スヌーピータウン」プロジェクトに参加したことをきっかけに「ピーナッツ」に携わるようになり、原作者であるチャールズ M.シュルツ氏と親交を深める。

2002年には、アメリカ サンタローザ市に建設されたチャールズ M.シュルツ ミュージアム計画に参加し、大谷の作品は永久展示されている。

その後、独学で書と墨絵を習得し、スヌーピーが登場するキャラクター達と日本の漢字や言葉を合体させた「グリフアート」を生み出し、他に独学で生み出したアート手法「酔書」(すいしょ)や「投書」(とうしょ)などを使い数々の作品を作り続け世界的に活躍している。

鈴鹿市文化会館

〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810

TEL:059-382-8111

近鉄鈴鹿市駅から鈴鹿市文化会館行きの三交バスまたはタクシーで約4分

三交バス鈴鹿市文化会館から徒歩で約1分

※駐車場には限りがありますため、相乗り・送迎・公共交通機関でのご来場にご協力ください。

